

勝山市立中学校を福井県立勝山高等学校に併設・連携する計画案に関する
公開質問

勝山市の教育の未来を考える会

中学校を勝山高校の敷地内に建設することに反対する有志の会

小林信慈、加藤一二、多田治周、中村重夫、中野栄、山範男、三谷征野、
皿澤吉朗、永井利一、笠羽忠恭、藤井範子、川村信治、吉川憲男、山岸忠祐、
前川敏男、松本勇一、田中秀則、酒井武裕、他 (年齢順)

勝山市がすすめている「勝山市立中学校を福井県立勝山高等学校に併設・連携する計画案」に関して、以下のとおり質問します。1月末日までに文書でご回答ください。なお、質問と回答などは、公開させていただきますので、よろしく願いいたします。

1. 「併設」「連携」などの術語について

勝山市では、高志中高のように同一の場所に中・高二つの学校が存在する「併設」の学校を参考事例としながら、金津高校等の「連携型」の学校を目指すとしています。しかし、金津高などのような分離連携では教育効果が出ないとして、前例のない特殊な「併設・連携」を目指すなどと説明され、市民は混乱していると思われま

- (1) 「併設型」も「連携型」もそれぞれ定義された言葉であり、学校の設置基準により勝山市では実施できません。市民に誤解を与える説明になっているのではないのでしょうか。
- (2) 勝山市は、県に前例のない新設中学校を作ろうとしています。そのような場合に踏むべき手順をお示しください。

2. 小学生および中学生の進学先選択について

文科省の学校設置基準によれば、「特別な学校を設置した場合でも(普通の)中学校を設置する義務がなくなることはない」と、普通の学校を残すことの必要性を述べています。今回の勝山の高校と併設立地する中学校を普通の学校とは言えないと思われま

- (1) このような特殊な「中高併設・連携校」しかない場合これを選択しない、という保護者や生徒の権利は守れないと考えますが、見解を伺います。
- (2) 中学生は希望すれば無条件に勝山高校へ進学できるようになるのですか？
- (3) 勝山高校は普通科の学校ですから、大きな学力差がどのような問題を引き起こすと予想されていますか。また、現状はどうでしょうか。
- (4) 中学生に多様な進路を選ぶ権利を保証するなら、自らの希望に従って進路を選ぶ生徒と勝山高校に進学する(地元に残る)生徒に二分されますが、それでも勝山高校への進学者増が期待されるという根拠は何ですか？
- (5) 諸問題の心配から、中学入学の時点で移住してでも市外の中学を選択し、市内の中学生そのものが減少してしまうとの意見がありますが、見解を伺います。

3. 同じ敷地にあれば連携が失敗しないという根拠について

「県内の連携型の3校は連携効果が出ていない」と「連携型」の問題を指摘し、併設立地により両校の有機的・濃密な連携が可能になるなどその効果を指期待しておられますが、どのような検証も示されていません。そもそも、既存の「連携型」での問題は、中学校と高校の「距離」が原因ではないと思われま

- (1) 併設立地により効果が期待できる根拠を伺います。
- (2) 修正案では併設・連携教育を行うとしていますが、「連携クラス」を設置するのか、もし設置しないなら、どのような連携をするのか、見解を伺います。

4. 勝山高校内に中学校を設置することの諸問題点について

高校内に中学校を設置することはデメリットの方が多であることが浮き彫りになってきたと思われませんが、再編計画ではデメリットについてほとんど触れられず、とても不十分な検討になっているために、この計画が大失敗を招くことを、専門家をはじめ市民が危惧し予想しています。

また統合併設の利点として挙げられてきた部活動については、実は現在に比べて様々な面で悪化するということもはっきりしてきました。

以下の問題点についてどれだけの認識をお持ちでしょうか。

- (1) 文科省は「併設」による課題として「教職員の負担増」を挙げています。中高を一緒に立地することで教職員に生じる問題について。
- (2) 年齢差の大きい生徒たちが生活することによって生じる問題について。
- (3) 不登校についての想定と対応は。
- (4) 進学に際して校種と場所が変わることによりリセットできて学校に適應できる生徒も多いという現実に対して、どのように把握しておられるのか。
- (5) 現在、勝山では中高とも非行が少なく学校での問題行動も少ない理想に近い状態です。今回の計画によってその現状を壊す恐れがありますが、どうお考えですか。
- (6) 体育館、特別室、グラウンドなど様々な施設の共用が必要となりますが、共用によってどのような問題が生じるとお考えですか。
- (7) 部活動、生徒会活動、学活、その他の場面で多くの生徒が主役になれる環境が失われる問題について。
- (8) ジョアアリーナへの移動のために数億円をかけて作るという地下道は、非行や犯罪の場所になりやすいという指摘がありますが、地下道を通る中高生の危険性をどう認識されていますか。

5. 計画案が当初と変わり二転三転していることについて

案が何度も変更されることから、計画が練られたものでないことが明らかになり、12月に出された「修正案」では、これまで市民説明会で説明した内容と大きく異なっています。誰が、いつ、どんな検討をしたのかも明らかにされていません。

- (1) 市民に説明してきた内容を大きく変更したのであれば、改めて市民に説明をし直すのが誠実かつ適切ではないか。3月以降も審議を継続すべきではないか。
- (2) 再編に大きく関わる中学校・高校の教職員の皆さんに、事前に相談し、意見を収集して案を作成されましたか。
- (3) パブリックコメントは1月16日で締め切られましたが、これで市民への説明も意見聴取も完了とするのか、見解を伺います。

6. 勝山高校の存続について

市では「市立中学校を勝山高等学校に併設・連携する計画案の発端は、市議会の一般質問の中で勝山高校の存続などの問題と絡めて提案があったからだ」としています。

しかし、2020年6月に、福井県教育委員会は、県立高校を小規模校でも存続すると、従来の方針を大転換させています。

- (1) 勝山高校は存続されるのですから当初の動機は解消しています。あとは高校が、独自で魅力化、活性化に取り組むべきであり、高校に中学校を併設立地する計画は中止すべきではないでしょうか。市の見解を伺います。
- (2) 義務制の校長会が集約した現教職員の意見では、ほぼ全てが勝山高校敷地での中学校建設に反対の意見を述べておられますが、それでもそれらを押し切って急いでこの計画を実施しようとする理由は何でしょうか。

勝山市の教育の未来を考える会

中学校を勝山高校の敷地内に建設することに反対する有志の会

連絡先

勝山市片瀬町2丁目314 TEL 87-2306

山 範男

勝山市北郷町坂東島40-33 TEL 89-1134

川村信治